

平成26年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年12月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 サンオータス
コード番号 7623 URL <http://www.sunautas.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
四半期報告書提出予定日 平成25年12月13日

(氏名) 北野 俊
(氏名) 古川 晴男

TEL 045-473-1211

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年4月期第2四半期の連結業績(平成25年5月1日～平成25年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年4月期第2四半期	19,245	10.4	64	△16.4	73	△17.0	△38	—
25年4月期第2四半期	17,428	4.2	77	—	88	—	52	—

(注) 包括利益 26年4月期第2四半期 △42百万円 (—%) 25年4月期第2四半期 50百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年4月期第2四半期	△12.06	—
25年4月期第2四半期	16.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年4月期第2四半期	13,744		3,640		26.5
25年4月期	13,658		3,720		27.2

(参考) 自己資本 26年4月期第2四半期 3,637百万円 25年4月期 3,717百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年4月期	—	0.00	—	12.00	12.00
26年4月期	—	0.00	—	—	—
26年4月期(予想)	—	—	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年4月期の連結業績予想(平成25年5月1日～平成26年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	△3.6	300	6.0	300	4.6	180	1.9	56.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年4月期2Q	3,230,500 株	25年4月期	3,230,500 株
② 期末自己株式数	26年4月期2Q	47,870 株	25年4月期	49,370 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年4月期2Q	3,181,220 株	25年4月期2Q	3,181,130 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済・金融政策への期待感と円安傾向を背景に、輸出関連の改善と個人消費の持ち直しから、景気は緩やかに回復しつつあります。しかしながら、米国の金融政策の動向や欧州の政府債務問題、中国やその他新興国経済の成長鈍化などから、依然として景気の下振れリスクが懸念され、先行き不透明な状況で推移しております。

当社グループは、当期を初年度とする三カ年の中期経営計画として「トータルカーサービス」から「トータルライフサービス」への発展的な変革を行うため、生活関連事業の拡大強化を図り、お客様が抱える諸課題と多様なニーズにお応えできるサービス体制を構築するとともに、新規顧客の獲得強化とグループ共通商材の拡販に取り組み、経営基盤の拡充と事業規模の拡大に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、新規顧客開拓による車両販売台数およびガソリン販売数量の増加と、石油製品価格が上昇したことにより、売上高は19,245百万円（前年同四半期比1,817百万円増収、10.4%増加）となりました。しかしながら利益面では、石油製品市況の低迷と生活関連事業の拡大に伴う先行投資などもあり、営業利益64百万円（前年同四半期は77百万円の営業利益）、経常利益73百万円（前年同四半期は88百万円の経常利益）を計上し、法人税等負担後の四半期純損失は38百万円（前年同四半期は52百万円の四半期純利益）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。第1四半期連結累計期間より事業セグメント区分を再編・変更しております。詳細につきましては、「四半期連結財務諸表（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。また、前年同期比については前年同期の実績を再編した区分にて再集計した数値を基に算出しており、セグメント間の取引については、相殺消去前の数値によって表示しております。

① エネルギー事業（石油製品販売、カーケア商品販売、車検・整備）

当事業につきましては、SS（サービスステーション）での積極的な販売促進策の実施効果と、顧客満足度向上の継続強化により、新規顧客数は増加し、ガソリン販売数量並びにカーケア商品の販売が増加いたしました。また、直販部門による大口需要家向け燃料油の販売数量も堅調に推移いたしました。しかし、車検・整備におきましては、前年までのエコカー補助金などを背景に新車買い替えが増加したことから、車検全体の需要が減退し、生産台数は低調に推移いたしました。

損益面では、市況の低迷と石油製品需要の減少などから、SS間の価格競争は更に激化し、適正なマージンを確保できなかったこと、車検・整備の生産台数が計画を下回ったことにより、厳しい収益状況が続きました。しかしながら、顧客数は計画以上に増加しており、利益面は最大需要期となる次四半期以降に期待をつなぐ結果となりました。

この結果、売上高は9,249百万円（前年同四半期比961百万円増収）、セグメント損失は57百万円（前年同四半期比21百万円減益）となりました。

② カービジネス事業（BMW、プジョー、フォードの輸入車正規ディーラー、オリックス・レンタカー）

当事業の輸入車販売につきましては、BMWディーラーを中心とした新規ユーザー層の拡大強化、消費税率引き上げに伴う買い替え促進策とエコカー対象車両のラインナップ拡充もあり、新車販売台数は大幅に増加し、売上高並びにセグメント利益は前年同期を大きく上回りました。また、サービスでは車検・整備の入庫促進策の強化を図り、好調に推移いたしました。

レンタカーにつきましては、平成25年8月より、みなとみらい21地区に『オリックスレンタカーみなとみらい店』を新規出店し、新規顧客の獲得を積極的に推進いたしました。また各店舗においても、お客様のニーズと需要期に見合った新規車両を配備し、各チャネルにおける新規顧客の開拓に努めてまいりました。

この結果、売上高は9,839百万円（前年同四半期比815百万円増収）、セグメント利益は219百万円（前年同四半期比76百万円増益）となりました。

③ ライフサポート事業（損害保険・生命保険募集業務、訪問介護サービス）

当事業につきましては、生活関連事業の拡大強化を図るため、積極的な先行投資を行ってまいりました。

保険部門におきましては、平成25年1月の2店舗同時出店に続き、平成25年9月に3店舗目の来店型保険ショップ『ほけんの窓口二俣川店』を新規出店し、店舗の認知活動による集客力の強化と人材育成による提案力の強化に取り組みました。介護部門では訪問介護による生活支援体制を強化するため、人材の確保と育成に努めてまいりました。契約件数につきましては、両部門ともに計画どおり推移しており、今後も将来に繋がる投資を積極的に行い、安定収益の確保に努めてまいります。

この結果、売上高は36百万円（前年同四半期比26百万円増収）、セグメント損失は55百万円（前年同四半期比27百万円減益）となりました。

④ 不動産関連事業（ビルメンテナンス業、不動産賃貸業）

当事業につきましては、ビルメンテナンスの営業強化による売上拡大と安定した顧客の確保により、引き続き堅調に推移いたしました。

この結果、売上は232百万円（前年同四半期比4百万円減収）、セグメント利益は48百万円（前年同四半期比7百万円減益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、13,744百万円と前連結会計年度末に比べ86百万円増加しました。これは主に、固定資産が86百万円増加したことによるものであります。負債合計は10,104百万円と前連結会計年度末に比べ165百万円増加しました。これは流動負債が317百万円増加し、固定負債が151百万円減少したことによるものであります。純資産合計は当第2四半期連結累計期間の業績を反映し79百万円減少して3,640百万円となりました。その結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は0.7ポイント減少して26.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ366百万円減少して1,150百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、405百万円となりました(前年同四半期連結累計期間は527百万円の獲得)。これは主に、税金等調整前四半期純利益が33百万円及び減価償却費307百万円を計上し、仕入債務の増加額275百万円であった一方、未収入金の増加額が125百万円、法人税等の支払額69万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、466百万円となりました(前年同四半期連結累計期間は232百万円の使用)。これは主に、試乗用車両を中心とした有形固定資産の取得による支出が473百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、305百万円となりました(前年同四半期連結累計期間は404百万円の使用)。これは主に、短期借入金の増加が114百万円、長期借入金の返済及び社債の償還による支払が207百万円、リース債務の返済による支出が174百万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、国内の景気回復が期待されるものの、米国の財政問題、欧州の政府債務問題、中国や新興国の成長鈍化から、景気の下振れリスクが懸念され、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

当社グループでは、引き続き生活関連事業の拡大強化を図り、お客様が抱える諸課題と多様なニーズにお応えできるサービス体制を構築してまいります。また、新規顧客開拓の積極的な推進とグループ共通商材の拡販強化、海外を視野に入れたM&Aに取り組み、事業規模の拡大と業績向上に努めてまいります。

通期の業績予想につきましては、第2四半期累計期間において当初予想との差異が生じましたが、第3四半期は燃料油販売および輸入車販売にとって最大の需要期に当たり、収益の拡大が見込まれることから、平成25年6月18日公表の数値を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,652,676	1,286,572
受取手形及び売掛金	1,954,625	1,912,651
商品及び製品	2,037,426	2,349,414
原材料及び貯蔵品	10,892	11,558
繰延税金資産	63,355	55,048
その他	775,956	877,020
貸倒引当金	△38,649	△36,778
流動資産合計	6,456,283	6,455,487
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,220,357	1,193,640
土地	3,890,088	3,890,088
リース資産(純額)	498,270	546,640
その他(純額)	434,488	514,281
有形固定資産合計	6,043,204	6,144,650
無形固定資産		
のれん	5,038	—
その他	19,687	19,066
無形固定資産合計	24,725	19,066
投資その他の資産		
投資有価証券	94,288	89,462
長期貸付金	56,400	50,400
差入保証金	688,838	670,961
繰延税金資産	55,854	62,152
その他	268,586	282,073
貸倒引当金	△29,395	△29,417
投資その他の資産合計	1,134,573	1,125,632
固定資産合計	7,202,503	7,289,349
資産合計	13,658,786	13,744,837

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,283,820	2,530,448
短期借入金	4,550,000	4,664,000
1年内返済予定の長期借入金	361,310	337,988
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
リース債務	294,036	291,543
未払法人税等	63,167	69,062
賞与引当金	108,542	111,905
その他	745,687	718,888
流動負債合計	8,436,563	8,753,835
固定負債		
社債	60,000	45,000
長期借入金	687,692	519,698
リース債務	235,831	287,435
繰延税金負債	15,497	14,446
退職給付引当金	381,568	381,050
役員退職慰労引当金	96,992	72,913
その他	24,386	29,815
固定負債合計	1,501,967	1,350,360
負債合計	9,938,531	10,104,196
純資産の部		
株主資本		
資本金	411,250	411,250
資本剰余金	462,500	462,500
利益剰余金	2,848,579	2,771,808
自己株式	△27,174	△26,349
株主資本合計	3,695,154	3,619,209
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,345	18,327
その他の包括利益累計額合計	22,345	18,327
新株予約権	2,755	3,103
純資産合計	3,720,255	3,640,640
負債純資産合計	13,658,786	13,744,837

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)
売上高	17,428,675	19,245,986
売上原価	14,665,631	16,348,180
売上総利益	2,763,043	2,897,806
販売費及び一般管理費	※ 2,685,563	※ 2,833,066
営業利益	77,479	64,740
営業外収益		
受取利息	1,380	513
受取配当金	879	935
受取手数料	29,437	29,679
違約金収入	6,790	—
その他	10,565	9,843
営業外収益合計	49,053	40,973
営業外費用		
支払利息	35,103	27,663
その他	2,579	4,346
営業外費用合計	37,682	32,010
経常利益	88,851	73,703
特別損失		
固定資産除却損	2,725	1,694
役員退職慰労金	—	38,249
特別損失合計	2,725	39,943
税金等調整前四半期純利益	86,126	33,759
法人税、住民税及び事業税	42,733	69,834
法人税等調整額	△9,479	2,283
法人税等合計	33,253	72,118
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	52,872	△38,358
四半期純利益又は四半期純損失(△)	52,872	△38,358

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年5月1日 至 平成25年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	52,872	△38,358
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,966	△4,018
その他の包括利益合計	△1,966	△4,018
四半期包括利益	50,905	△42,376
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,905	△42,376
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	86,126	33,759
減価償却費	311,045	307,284
のれん償却額	10,496	5,038
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6,649	△1,847
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,138	3,363
退職給付引当金の増減額(△は減少)	147	△517
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△4,434	△24,078
受取利息及び受取配当金	△2,260	△1,449
支払利息	35,103	27,663
役員退職慰労金	—	38,249
固定資産除却損	2,725	1,694
売上債権の増減額(△は増加)	125,955	19,815
たな卸資産の増減額(△は増加)	△91,556	△16,299
仕入債務の増減額(△は減少)	△38,841	275,361
未収入金の増減額(△は増加)	341,842	△125,063
未払金の増減額(△は減少)	△135,077	9,501
その他	△22,691	△51,081
小計	615,068	501,392
利息及び配当金の受取額	2,260	1,449
利息の支払額	△34,946	△27,905
法人税等の支払額	△54,510	△69,718
営業活動によるキャッシュ・フロー	527,872	405,218
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△14	△10
有形固定資産の取得による支出	△228,340	△473,348
投資有価証券の取得による支出	△500	△516
差入保証金の差入による支出	△13,955	△15,048
差入保証金の回収による収入	24,707	31,038
短期貸付金の増減額(△は増加)	△8,750	250
長期貸付けによる支出	△10,000	△1,750
長期貸付金の回収による収入	19,650	7,250
その他の支出	△15,663	△13,884
投資活動によるキャッシュ・フロー	△232,867	△466,020

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△591,872	114,000
長期借入れによる収入	600,000	—
長期借入金の返済による支出	△180,754	△192,316
社債の償還による支出	△15,000	△15,000
リース債務の返済による支出	△185,205	△174,647
配当金の支払額	△31,811	△38,173
自己株式の売却による収入	—	825
財務活動によるキャッシュ・フロー	△404,643	△305,312
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△109,638	△366,114
現金及び現金同等物の期首残高	1,220,998	1,516,594
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 1,111,360	※ 1,150,480

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年5月1日至平成24年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	エネルギー 事業	カービジネ ス事業	ライフサポ ート事業	不動産関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,206,603	8,994,710	8,849	218,512	17,428,675	—	17,428,675
セグメント間の内部売上高 又は振替高	80,877	29,588	737	18,624	129,828	△129,828	—
計	8,287,481	9,024,298	9,587	237,136	17,558,503	△129,898	17,428,675
セグメント利益又は損失 (△)	△35,452	143,593	△28,314	56,183	136,009	△58,529	77,479

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△58,529千円にはセグメント間取引消去58,535千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△117,065千円が含まれております。なお、全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年5月1日 至 平成25年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	エネルギー 事業	カービジネ ス事業	ライフサポ ート事業	不動産関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,164,829	9,829,444	36,041	215,671	19,245,986	—	19,245,986
セグメント間の内部売上高 又は振替高	84,361	9,945	194	16,792	111,293	△111,293	—
計	9,249,190	9,839,389	36,235	232,463	19,357,282	△111,293	19,245,986
セグメント利益又は損失 (△)	△57,184	219,729	△55,454	48,358	155,449	△90,708	64,740

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△90,708千円には、セグメント間取引消去53,993千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△144,702千円が含まれております。なお、全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントの変更に関する事項

当社グループでは、従来、報告セグメントを「ライフエネルギー事業」「カーライフサポート事業」「カービジネス事業」「不動産関連事業」の4つとしておりましたが、『トータルカーサービスからトータルライフサービスへ』の経営方針のもと、業績管理単位の変更を行ったことに伴い、第1四半期連結累計期間より「エネルギー事業」「カービジネス事業」「ライフサポート事業」「不動産関連事業」の4つに変更しております。

これは、自動車保険以外の保険も総合的に取り扱う「ほけんの窓口」店舗の稼働が本格化したのを契機に、従来「カーライフサポート事業」に含まれていた保険事業と、従来「ライフエネルギー事業」に含まれていた訪問介護事業を、トータルライフサポートの視点でまとめて管理することになったため、「ライフサポート事業」という報告セグメントを新たに設けたものです。

これに伴い、従来「ライフエネルギー事業」に含まれていた石油製品販売、カーケア商品販売、車検・整備事業等については、引き続き1つの報告セグメントを構成し、名称を「エネルギー事業」に変更しております。

また、従来「カーライフサポート事業」に含まれていたレンタカー事業は、関連性の高い自動車ディーラー事業等と併せて管理することとなったため、報告セグメント上も「カービジネス事業」に含めて表示することとし、従来の「カーライフサポート事業」は廃止致しました。

「不動産関連事業」については、従来と変更はありません。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。